

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「クラブと地区の  
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「しなやかな変化で  
奉仕を高めましょう」



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 **イアンH.S.ライズリー**  
2560地区ガバナー **新保 清久**  
高田ロータリー会長 **橋詰 敏一**  
幹事 **田中 正人**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守  
小池 猛紀

## 第33回例会 ■ 3月16日(金)

No.33

### 会長挨拶 ● 橋詰 敏一



昨日までは、春を飛び越えて初夏のような陽気でしたが、一転本日は真冬に逆戻りしたような寒さです。体調管理にお気を付け下さい。

先週は、新井、高田東クラブとの合同例会で楽しい一時を過ごさせていただきました。「雅楽」の音に、悠久の歴史を感じました。SAA、親睦委員会の皆さんありがとうございました。あっと言う間に3月も折り返し、来週には次年度のPETSが予定されており、いよいよ牧野年度が動き出します。私の年度も残す所1/3を切り、なんとなく笑顔になってしまいます。残す期間もしっかりロータリー活動を田中幹事共々行ってまいります。

さて、この週末、私事で長女の引越しに行きます。今年、ニュースになっていますように、引越困難者が多数出てしまうようです。幸い私共は、2月中旬には決定契約しましたので、業者は確保できましたが、価格は向こうの言い値、京都から東京に学生6帖分の荷物で22万円です。私の知人は、上越から横浜へ転勤で、こちらは家族(アパート)ですが、業者が居らず探しに探して見積ったら65万円だったそうで、あきらめて御主人が4t車をリースして運ぶことになったそうです。先週もお話しましたように、超少子高齢

化社会に突入している日本は、どんどん生産人口が減ります。この引越し困難者は今年だけではない訳で、日本の社会全体のシステムの変換点が来ている良いサインです。昨日、国際機関による国別国民の幸福度ランキングが発表され、日本はまたランクを落とし54位となりました。上位は、ヨーロッパ北欧です。成熟した資本主義においては、足るを知り、満足度の高い生活を送れるような社会が求められると私は考えます。それを支えるのが日本は、技術力であり、その裏付けは高い教育水準の維持です。皆さんは、どう思われますか。

本日の卓話は、地域経済の状況のお話をいただきます。

### 出席報告

出席率 100%

### セレモニー

2017-18年新保年度委嘱状

ロータリー財団委員会会計監査委員 水上喜芳君

2018-19年川瀬年度委嘱状

地区諮問委員 大島精次君・東山昶也君

青少年奉仕委員会副委員長 石倉 悟君

青少年交換委員会委員 チャールズ・C・ストラットン君

## 委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

橋詰敏一君——長女が何とか大学を卒業し、食えないであろうデザイン・ファッション系に就職いたしました。心配はつきませんが、ひとまずは荷が下がりました。

堀井靖功君——前島密講演会は大勢の参加を得て無事終了できました。これも前島さんのおかげです。感謝。

山崎公一君——私事で恐縮ですが、この度娘が高校に無事合格し私の後輩となりました。9日のチャリティーオークション以降禁酒して

いた甲斐がありました。ありがとうございました。

親睦委員会——3月の会員お誕生日各お祝い

米山奨学委員会——寄付のお願い

## 会員インフォメーション

棚橋博史君——川上善兵衛生誕150周年のご案内・退会のご挨拶

## 幹事報告

配布物：週報No.32・ロータリーの友3月号

回覧：ガバナー月信3月号・ハイライトよねやま216号

## 卓話

### 「新潟県経済の見通し」～法人企業景気予測調査結果から～

関東財務局新潟財務事務所 所長 斉藤 友博 様



法人企業景気予測調査に関しては、年4回、内閣府と財務省により『企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得る』を目的とし行っております。(6・9・12・3月)企業の現状と見通しに対する経営者の判断を調査することで先行きの経済動向を予測しております。(224社調査対象企業からの回答)

①景況判断(県内企業の景況感、4期ぶりに悪化) 全産業では「下降」幅は拡大している。中堅企業以外の大企業と中小企業は「下降」幅は拡大。先行きでは「下降」幅は全体には縮小するが、中堅企業も「下降」に転じる見通しとなっています。

②売上高(29年通期増収見込み、30年度通期も増収見通し) 全産業では前年比増収見込みとなっている。大企業・中堅企業は増収、中小企業は増収の見込み。業種別では製造業が14.2%の増収見込み、非製造業では2.2%の増収見込み 但し、中小企業は厳しい状況は変わらず。

③経常利益(29年度は通期では増益見込み、30年度通期は減益見通し) 全産業では前年比17.9%の増益見込みだが、30年通期見込みは4.7%の減益の見通しである。29年度は大企業のみ利益を拡大したが、30年

度は中堅企業・中小企業が拡大見通しではあるが全体から見ると縮小傾向にある。

④設備投資(29年度は通期で増加見込み、30年度も増加傾向にある)

全産業では前年比7.6%の投資計画額は増加見込みである。30年度も大企業・中堅企業は増加見込みであるが中小企業は非常に厳しいと見込まれます。業種別では製造業、非製造業ともに増加見込みであり全体では明るい傾向にある。

⑤雇用(現状判断は不足気味)

規模別・業種別に見ても、大企業・中堅企業・中小企業いずれも「不足気味」超となっており、今年度もこの傾向は変わらず。人手不足問題は、この先益々クローズアップされ超高齢化社会の日本では、各企業において人材の確保が最重要課題でありカギとなる。

【県内企業の生の声として】

- ・生産用機械器具製造業では海外からの受注が好調で売上・利益を確保できた。
- ・小売業では新規出店効果と灯油等の季節商材の売上が伸びた。
- ・金属製品製造業では今冬は気温が低く、暖房機器の売上が増加・増益となった。